

## 東南アジア研究 参考文献表記法

### 一般的な規則

- 1) 引用文献、参考文献などは原則として論文の末尾に一括して載せ、脚注には載せない。
- 2) 論文の中で引用または参照のために文献を挙げるときは、著者名、発行年、ページ数を [ ] (ブラケット) し、本文中に入れることとする。

(例) [Tsuchiya 1978: 147]

本文末尾には、

Tsuchiya, Kenji. 1978. *Javanese Intellectuals' Conception of the Western Worlds*.  
Tokyo: Sobunsha.

と書き、その 147 ページを参照させることを意味する。

その他の例 [Fukui *et al.* 1979] [前田 1975a: 15-18] [坪内 1979: Ch. IV]

引用文献を番号で整理する場合は、引用文献番号を [ ] の中に入れる。

(例) [9: 363-369] [18]

### 3) 文献表示の順

#### a. 単行本、多巻本など

- (1) 著者の姓・名
- (2) 発行年
- (3) 書名
- (4) 発行地名
- (5) 発行所名

b. 雑誌、論文、新聞など

- (1) 著者の姓・名
- (2) 掲載紙誌の発行年
- (3) 論文タイトル
- (4) 掲載紙誌名
- (5) 巻・号
- (6) ページ

4) リストの順

a. 著者の姓のアルファベット順

b. 同一著者による複数の著作は年代順

c. 特殊語による文献、または特殊文献を別途に取り扱うことも可

## 邦文文献の記載例

### 原則

1. 。 (マル) は使わず , (黒マル) を用いる。
2. 本は『 』、論文は「 」。
3. 複数の著者の区分は ; (セミコロン) 。
4. 著者の場合は著といわず、編者の場合だけ (編) とする。
5. 出版年は西暦に統一。

I. 複数の著者のある単行本

口羽益生 ; 坪内良博 ; 前田成文 (編) . 1976. 『マレー農村の研究』東京 : 創文社.

II. 単数の著者で雑誌記事

福井捷朗. 1979. 「気候変動と湿潤熱帯の農業」『科学』49(3) : 148-157.

(49 巻 3 号の 148 ページから 157 ページを表す)

Ⅲ. 多巻ものの中の1巻

石井米雄. 1978. 『インドシナ文明の世界』（世界の歴史 14）東京：講談社.

Ⅳ. 編著の中の1章

矢野 暢. 1974. 「南タイの土地所有」『東南アジアの自然・社会・経済』市村真一（編）, 52-88 ページ所収. 東京：創文社.

v. 原著名を示す

リップセット, S・M. 1963. 『政治のなかの人間』内山秀夫（訳）. 東京：創元新社. （原著 Lipset, Seymour Martin. 1959. *Political Man: The Social Bases of Politics*. New York: Doubleday & Co.）

Ⅵ. 訳を示す

Smith, Wilfred C. 1957. *Islam in Modern History*. Princeton: Princeton University Press. （スミス, W. C. 1974. 『現代におけるイスラム』中村廣治郎（訳）. 東京：紀伊国屋. ）

## 英文文献の記載例

### 原則

1. 本、雑誌はイタリック。本、雑誌の中の一章はイタリックにしない。
2. 複数の著者の区分は；（セミコロン）。
3. “著”の場合にはそのまま。“編”の場合だけ ed. または eds. を使う。

<単行本>

I. 複数の著者の場合

Berelson, Bernard R.; Lazarsfeld, Paul F.; and McPhee, William N. 1954. *Voting*. Chicago: University of Chicago Press.

II. 定訳のない邦文で“編”の例

Shibusawa, Masahide; and Saito, Shiro, eds. 1974. *Tonan Ajia no Nihon Hihan* [Southeast Asian Criticism against Japan]. Tokyo: Simul Shuppankai.

III. 単行本の中の1章で、編、翻訳者のある場合

Watabe, Tadayo. 1978. The Development of Rice Cultivation. In *Thailand: A Rice-Growing Society*, edited by Yoneo Ishii, pp. 3-14. Translated by Peter and Stephanie Hawkes. Honolulu: University Press of Hawaii.

(a) 出所を表すのに In を使う。

(b) edited, translated と spell out する。

(c) ページは“編”のあと。

IV-1. 多巻の中の1巻の場合

Durant, Will. 1942. *Our Oriental Heritage. The Story of Civilization*. Vol. 1. New York: Simon and Schuster.

IV-2. シリーズの中の1巻の場合

Fischer, Joseph. 1973. *Foreign Values and Southeast Asian Scholarship*. Research Monograph Series, no.11. Berkeley: Center for South and Southeast Asian Studies, University of California, Berkeley.

V. 著者が団体であり、かつ association の場合

全体のページ数を示す場合

Special Libraries Association. 1963. *Directory of Business and Financial Services*. New York: Special Libraries Association. 483p.

VI. 著者が団体であり、かつ政府機関である場合

Thailand, Royal Irrigation Department. 1978. *Progress of Land Consolidation Projects in Thailand, 1977*. Bangkok: Royal Irrigation Department. 88p. (Mimeographed)

(a) 国名を頭に出す。

(b) 謄写版刷りの場合は ( ) (丸カッコ) で、最後に載せる。

(c) 同じ文献が何度も引かれるときは、たとえば Royal Irrigation Department を RID のように略してもよい。

VII. 著者が不明の場合

Anonymous. 1961. *Die Situation in Laos*. Wien.

<雑誌・論文・記事など>

VIII. Varley, Barbara K. 1963. Socialization in Social Work Education. *Social Work* 8(1): 103-109.

(8(1)は8巻1号を表す。8 (July) と月を入れることもあり得る。103-109 と pp.を入れない)

IX. 邦文雑誌に載った邦文論文を英文で引用する場合

Sato, Takashi. 1977. Indonesia no Shokuyo Mameka Shokubutsu [Edible Legumes in Indonesia]. *Tonan Ajia Kenkyu* [Southeast Asian Studies] 15(3): 452-456.

(邦文論文には仮訳をつける)

X. 邦文雑誌に載った英文論文

Iwatsuki, K.; and Price, M.G. 1977. The Pteridophytes of Mt. Burnay and Vicinity, Northern Luzon. *Southeast Asian Studies* 14(4): 540-572.

XI. 新聞の例

Amador, Zenaida. 2002. Hostage to Numbers and Noise? *Manila Bulletin*. August 29, 2002.

## XII. 雑誌に載った review の扱い

Bronson, Bennet. 1976. (CA Comment on "An Evolutionary Approach to the Southeast Asian Cultural Sequence" by Karl L. Hutterer.) *Current Anthropology* 17(2): 230.

- \* 特殊語については、編集室までご相談ください。
- \* 外国文献については、必ずタイプしてください。

## 追記

『東南アジア研究』では、参考文献の表記の仕方を規定しております。この「文献表記について」のルールに従って、ご執筆いただきますが、念のため、その要点を以下に記しますので、よろしくお願い申し上げます。

1. 参考とした文献は、全て論文末尾に一括・独立させ、脚注の中では触れない。したがって、脚注では原則として、注意書きや聞き取り調査の情報源など、補足的なことを書くに留める。
2. 末尾に載せる参考文献の表記のスタイルについては、特に以下の点にご注意ください。
  - (1) 掲載順は（外国語文献、邦文文献ともに）アルファベット順。
  - (2) 外国語論文の場合“ ”（コーテーション・マーク）は用いない。
  - (3) 訳書の場合その原著名をも記す。
  - (4) 雑誌記事などで執筆者がわからない場合はそれだけを別立てにし、「タイトル、発行所、ボリューム（ナンバー）：ページ、発行年」の順に記す。

### 3. 本文中での書き入れ方の追加規定

(1)同一文献を挙げる時の書き入れ方については、以下のとおり。

#### 1) 邦文文献

★ [前田 1975a: 15]

↓

[同上書：17] or [同所]

↓

同一文献同一ページの意

★ [前田 1975a: 15]

↓

[前田 1975b: 13] (他文献が間にある場合)

↓

[前田 1975a: 15]

(こういったときに「前掲書」という言葉は用いない)

## 2) 英文文献

★ [Maeda 1975a: 15]

↓

↓

[*ibid.*: 17] or [*ibid.*](同一ページの場合)

2012 年度より *loc.cit* は用いない。

*ibid.* の使用方法については、*The Chicago Manual of Style* (16th edition) を参照のこと

★ [Maeda 1975a: 15]

↓

[Maeda 1975b: 13] (他文献が間にある場合)

↓

[Maeda 1975a: 15]

(こういったときに *op. cit.* という言葉は用いない)

(2) 一度に複数の文献を挙げるときは[A; B; C; ….]といったスタイルにし、その順序は1)

*ibid.* の類を最優先させる、2) 原則としてアルファベット順 (= 「参考文献」の欄での掲載順)

(3) 以上の事柄は本文中で通して考え、脚注では各項ごとに処理する。

この件につきまして、ご質問などございましたら何なりと、当編集室（075-753-7344）までご連絡下さいませ。以上何卒よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

〒606-8501 京都市左京区吉田下阿達町 46

Tel : 075-753-7344 Fax : 075-753-7356

e-mail : [japanese-editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp](mailto:japanese-editorial@cseas.kyoto-u.ac.jp)